

## 9月の学習会の案内

平成27年9月2日

いよいよ2学期がスタートしました。先生方には学期初めのお忙しい時をお過ごしのことと存じます。附属小学校では、2学期は研究会と教育実習が重なるとも責任感をもって仕事のできる時期です。よりよい学期末が迎えられるように目先のことと先のことをバランスよくがんばっていきたいものです。

さて、語る会の方も来年度の西日本集会へ向けて佳境に差し掛かってきたといえそうです。各グループでは実践報告へ向けて提案を練り上げていく段階へ入ってきたのではないのでしょうか。少し忙しい時期が続きそうですが、この間の宮本先生の話にもあったように今後の岡山の国語教育へ間接的ながら果たすべき役割を担っていると考えると、やりがいのある、そしてやらなければならない仕事であると感じています。とはいえ、そう肩肘張らずともいいのだろうとも思っています。授業研究の一環としてみなさんで力を合わせて、楽しみながら価値あるものができあがっていくのではないかと個人的には期待しています。

今月の会は以下のようになっています。先生方の参加をお待ちしています。

日時	平成27年9月12日(土) 9:30~12:00
場所	岡山大学 教師教育開発センター東山ランチ TEL(086)272-0511 FAX(086)271-3455
連絡先	小出 真規(こいで まさき) TEL 090-5704-7339 m-koide@okayama-u.ac.jp (学校パソコン) m.koide.freewill@icloud.com (携帯メール) ※小出の携帯メールアドレスが変更になっています。
内容	西日本集会へ向けての教材研究および授業構想(グループごとに内容が異なります)
＜お知らせ＞	
※ <u>駐車場について</u> 東山ランチの駐車場をお使ください。	
※ 会費納入 まだの方は新年度の年会費をお願いします。2000円です。	

### <8月の記録>

#### ●育ちのつがり

- ・各学年の説明文の3学期教材の分析を行う。
- ・それぞれの教材ごとに「論理性の特徴」「読みの方略」「書きぶり、論の展開(文章構成)」などを表にまとめる。
- ・指導要領の指導事項とのつながりを考えながら、「筆者を読む」「初発の感想」「読みの過程での反応」「授業展開」を表としてまとめる。
- ・今後は、メンバー間でC4THを利用するなどして表への整理を進めていく

●学習者のつながり

- ・ 「想像力のスイッチを入れよう」（光村図書6年）についての単元構想を進める
- ・ 子どもの直観からめあて「筆者の伝えたいことを見つけよう」といった導入を構想
- ・ 累積的対話と探求的対話が組み込まれるように2次の構想を検討中
- ・ 時間は具体的な提案をもとに実践計画を立てる予定

●学びのつながり

- ・ 記録の先生、提供をお願いします。

●小川先生より

- ・ 夏期国語での田近先生のお話からは、今の「おもしろ見つけ」の方向性は自信をもっていいと感じた。
- ・ 直観から生まれたものを検証していき意味あるものか検証していく過程を経ることでことばの力が身に付く。それこそが自覚的なことばの学び手と言える。
- ・ 宮本先生の話からは、〇〇反応といったものを「くくり」として整理していくことが必要なのではないかと感じる。「難しい」とせずそうした位置づけを行う営みが教師として必要
- ・ 西日本集会では冊子を作る予定。今のグループで何人ということは決めない。

●田中先生

- ・ 西日本集会では報告書を作る予定
- ・ 3つのグループで検討を進めているが、本来はどの授業においてもこの3つの学びという視点が必要。
- ・ 「おもしろ見つけ」は「おもしろい」の内容に関わる直観の豊かさについて考えていく必要がある。高学年でも「やさしい」だけで読んでいっていいのか。
- ・ 分析言語の獲得は必要なこと。その表現からどんなことが読んでいけるか（表現駆動）。それを意識化して自覚していくことが必要。

文責 小出  
間違い等ありましたら、お知らせください。